

Anthropology of Lifedesign and Well-being

開催日時 ● 2009年2月28日[土] 10:00~17:30
2009年3月 1日[日] 10:00~17:00

場 所 ● 立命館大学 衣笠キャンパス 創思館1Fカンファレンスルーム
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

- 2/28 土 セッションI 「人にやさしい社会の創生に向けて—大学からの情報発信と人材育成」
セッションII 「多文化社会における高齢者のクオリティ・オブ・ライフ」
セッションIII 「高齢者のウェルビーイングから地域コミュニティのデザインへ」
- 3/ 1 日 セッションIV 「技術と障害者から始まるコミュニティ・デザイン」
セッションV 「オルタナティブ教育とライフデザイン」
セッションVI 全体討論

福祉の人類学 ライフデザインと

開かれたケア・交流空間の創出

国立民族学博物館 機関研究プロジェクト「ライフデザインと福祉(Well-being)の人類学—多機能空間の創出と持続的活用の研究」

- 10:00 開会の辞 松原洋子(立命館大学大学院教授)
 挨拶 田村克己(国立民族学博物館副館長)／立岩真也(立命館大学グローバルCOE「生存学」創成拠点リーダー・立命館大学大学院教授)
 趣旨説明 鈴木七美(国立民族学博物館教授)

セッションⅠ 人にやさしい社会の創生に向けて—大学からの情報発信と人材育成

- 司会:松尾瑞穂(学術振興会特別研究員)
 11:00 発表 佐野(藤田)眞理子(広島大学大学院教授・広島大学アクセシビリティセンター長)
 「大学アクセシビリティセンターにおける活動の展開」
 11:30 発表 稲葉洋子(大阪大学附属図書館)
 「被災から復興におけるボランティア活動の変化—震災資料収集と情報発信を中心に—」
 12:00 コメントと質疑応答 谷口陽子(お茶の水女子大学大学院研究員)
 海野るみ(お茶の水女子大学講師)

セッションⅡ 多文化社会における高齢者のクオリティ・オブ・ライフ

- 司会:海野るみ
 13:35 発表 傅法清(モジヘルスケア協会 アウトリーチコーディネーター)
 「多文化主義カナダの高齢者住宅とアウトリーチ」
 14:05 発表 Tilda Hui(Yee Hong Center for Geriatric Care Executive Director)
 「中国系高齢者総合施設イーホンセンターにおける継続的ケアと文化的背景への配慮」
 14:35 コメントと質疑応答 金本伊津子(桃山学院大学教授)・山田千香子(長崎県立大学教授)

セッションⅢ 高齢者のウェルビーイングから地域コミュニティのデザインへ

- 司会:福井栄二郎(島根大学准教授)
 15:40 発表 横石知二(株式会社いろどり 代表取締役副社長)
 「産業型福祉—高齢者を担い手とする産業の創出と町のデザイン—」
 16:10 発表 井川スミス史子(マギル大学名誉教授)
 「多文化都市モントリオールにおけるマギル大学の高齢者学習グループの展開」
 16:40 コメントと質疑応答 遠藤英樹(奈良県立大学教授)・白水浩信(神戸大学大学院准教授)

セッションⅣ 技術と障害者から始まるコミュニティ・デザイン

- 10:00 司会・趣旨説明:松原洋子
 10:10 発表 阪田弘一(京都工芸繊維大学准教授)・山本晋輔(立命館大学大学院)
 「スペースALS-D—介護×ダンス×建築」
 10:40 発表 日高友郎(立命館大学大学院)・水月昭道(立命館大学)
 「難病患者の遠隔地間対面コミュニケーションと技術ピアサポート」
 11:10 発表 生田目昭彦(社会福祉法人・訪問の家「朋」施設長)・田坂さつき(立正大学准教授)・大野英隆(湘南工科大学講師)
 「重度重複障害者の日中活動と工学部学生の福祉ものづくり」
 11:40 コメントと質疑応答 廣瀬浩二郎(国立民族学博物館准教授)・中村征樹(大阪大学准教授)

セッションⅤ オルタナティブ教育とライフデザイン

- 司会:村田吉弘(広島市立阿戸中学校校長)
 13:15 発表 千葉忠夫(バンクミケルセン財団理事長・日欧文化学院院長)
 「『試験のない学校』—デンマークのフォルケホイスコーレに集う人々—」
 13:45 発表 鈴木七美(国立民族学博物館教授)
 「オルタナティブ教育と時のデザイン—現代アメリカにおけるアーミッシュという生き方—」
 14:15 コメントと質疑応答 野村武夫(京都ノートルダム女子大学教授)・大藪千穂(岐阜大学准教授)



セッションⅥ 全体討論

- 司会:鈴木七美
 15:20 コメント 藤原久仁子(大阪大学特任研究員)・寺崎弘昭(山梨大学教授)
 15:40 全体ディスカッション
 16:40 総括(開会の辞) 佐野(藤田)眞理子

会場へのアクセス方法

JR・近鉄 京都駅 (烏丸中央口)	市バス 50 (京都駅B2のりば) 快速205 (京都駅B3のりば)	約35分	立命館大学前(終点)
	市バス 205 (京都駅B3のりば)	約35分	衣笠駅前 徒歩 約10分
阪急 西院駅	市バス 205	約20分	衣笠駅前 徒歩 約10分
	市バス 快速202 快速205	約20分	立命館大学前(終点)
阪急 大宮駅	市バス 55	約20分	立命館大学前(終点)
	市バス 15	約30分	立命館大学前(終点)
京阪 三条駅	市バス 59	約30分	立命館大学前
	市バス 15 55	約15分	立命館大学前(終点)
JR・地下鉄 二条駅	市バス 15 快速202 快速205	約10分	立命館大学前(終点)
	市バス 204 205	約10分	衣笠駅前 徒歩 約10分

立命館大学
衣笠キャンパス

定員 130名 (参加費無料 要事前登録)

*配布資料の点訳をご希望の場合は、2/9(月)までにお申し出ください。

使用言語 日本語・英語 (通訳・要約筆記あり)

申し込み・問い合わせ先

国立民族学博物館

国際研究フォーラム事務局 研究協力課国際協力係

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1

TEL : 06-6878-8235

E-mail : life@idc.minpaku.ac.jp

(国立民族学博物館 鈴木七美研究室
 E-mail : suzunana-ken@idc.minpaku.ac.jp)

